

| 事業区分 | 文化芸術事業 | | 鑑賞事業 | | |
|--|--|-----------------------|-----------------------|-----------------------|---------|
| 事業名 | 鳥取県立県民文化会館開館20周年記念 NHK交響楽団演奏会 | | | | |
| 目的・内容 | <p>[目的] 日本を代表するオーケストラとして、世界でも高い評価を得ているNHK交響楽団の演奏会を県民文化会館20周年記念事業として開催することで、より多くの人にクラシック音楽の素晴らしさを感じてもらう機会を提供する。また固定ファンだけでなく新規顧客の開拓を図り、クラシック音楽ファンの裾野を広げる。</p> <p>[出演] NHK交響楽団、アンドルー・マンゼ(指揮)、エマニュエル・パユ(フルート)</p> <p>[アフター事業]</p> <p>「私も一日ヴァイオリニスト」9/14(土)13:30～ とりぎん文化会館リハーサル室</p> <p>内容: 親子で楽しめるクラシック演奏とバルーンアート(来場者/71名)</p> | | | | |
| 開催日時 | 平成25年7月21日(日) 開演15:30 | | | | |
| 会場 | とりぎん文化会館 梨花ホール | | | | |
| 入場料 (友の会) | S席 8,000円 (7,500円) | A席 7,000円 (6,500円) | B席 6,000円 (5,500円) | C席 4,000円 (3,500円) | |
| | 高校生以下:2,000円(B,C席のみ) | | | | |
| 集客状況 | 入場者数 | 1,823名 | 設定席数 | 2,000席 | 集客率 91% |
| 事業費状況 | 予算額 | 収入 8,840,000円 | 支出 14,698,000円 | 収支比率 | 60% |
| | 決算額 | 収入 10,652,400円 | 支出 14,571,750円 | 収支比率 | 73% |
| 来場者アンケート (主なもの) 回答者数 579名 | <p>回収率31.8%、満足度87%、新規顧客獲得率17%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・素晴らしいコンサート、暑さを忘れ堪能しました。フルートが美しいだけでなく力が出る演奏に感動。(智頭町 60代 女性) ・指揮者によってオケもまた色々な味が楽しめるなあと。今日、モーツァルト、そしてフルートソロと癒されました。やはりテレビやCDより生演奏は格別。もちろんベートーヴェンも迫力満点ブラボーでした。(鳥取市 40代 女性) ・ウェルカムコンサートに驚きました。思いがけない素敵なプレゼントに感激しました。ありがとうございます。もちろんN響の皆様のオーケストラにもです。(倉吉市 50代 女性) ・素晴らしかった。自分も音楽をやっている今回の演奏によりやる気が出ました。(鳥取市 10代 男性) | | | | |
| 1次評価 (内部) | <p>[成果]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本トップクラスのクラシック公演の鑑賞機会が少ない本県においては、アンケート回答からも来場者に非常に満足いただけた。 ・湖山街道沿い、および鳥取駅から会場までの商店などの店舗の協力を得て、幅広く広報を行うことが出来た。今後の広報戦略の参考になりうる。 ・多くの点で担当者の広報マーケティングに対する工夫が感じられ、成果が出た事業であった。 ・アフター事業は親子で体験できるクラシックコンサート&ワークショップを実施した。子どもが騒いでもよいクラシックコンサートや実際に楽器に触れるワークショップは少ないため好意的な感想が多かった。また、実際に楽器に触れることでクラシックへの親近感を持ていただけたことができた。 <p>[課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世代別の来場者をみると50代以上が6割近い。クラシックというジャンルにおいて来場者の年齢層が高いのはこの地域で実施しても同じであるが、次世代の鑑賞者育成の取り組み強化が重要と考える。 ・県内東部を中心に主要の高校(吹奏楽部)へ出向いて販促を行い、学生入場率が12%という結果となったが、日本一の交響楽団と世界一のフルート奏者が揃う本公演はもっと多くの学生に会場に誘うことが今後の課題である。学生を対象としたワークショップの実施等が課題克服のツールであると考え、ワークショップは金額がかかるので、事前に公演契約に盛り込むなどの工夫が必要と考える。 | | | | |
| 2次評価 (財団評議員) | <p>[量的項目]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な項目(アンケート、入場者、収支等)で、予測を上回ったことはよかった。担当者の努力がうかがえる。 <p>[質的項目]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リピーター増加の評価に、引き続き地道な努力をお願いしたい。親しみやすさを追うあまり、コアなリピーターの欲求不満を呼ばない注意も必要。アフター事業は単なる関連事業とならないように。 <p>[課題等]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日曜日の5時開演は好評のようでした。ロビーコンサートもあり、良い時間設定だったと思います。 ・過去の実績を踏まえた計画・実施・評価・改善に取り組んだ担当者の成果であると感じた。 ・20歳未満の来場者は18%とあったが、数的には70名なので例年より多い。今後も顧客開発、広報、販促の努力を続けてほしい。 ・鳥取市近隣住民や若者おの来場について、コントロールできるもの・できないものを明らかにし、適切に判断していくことが重要。各要因を総合的に考えたうえで今後の戦略を作ること。 ・「家族」への仕掛けづくりは素晴らしい。ただ、高校生は家族に限らず友人と来る可能性もあり、いろいろな情報を収集し判断していくべきではないか。 | | | | |
| 今後の対応、 取組状況 | <ul style="list-style-type: none"> ・20周年記念事業という位置づけであり、演奏の質も非常に高い本公演の来場者が目標を200名以上も上回り、ご来場いただいた方に満足いただけた。 ・今回、高校への販促を強めたが、「有料チケットを生徒へ売りにくい」という学校側の反応が多かった。財団としても「生の音を聴く事」の大切さを生徒に伝えていく動きをさらに活発にしていく必要性を感じている。 ・今回は過去の公演(大阪フィル)の反省を生かした販促を行えたことは非常によかった。本公演の販売成果を今後の事業へ継承していくことが重要。 ・アンケート結果で財団の広報(アルテ、DM)の効果は出ていると考えられるが、更に多くの人々が公演情報を目にする広報展開を行わなければならない。良質の公演をできるだけ多くの人に鑑賞していただくことが重要であり、チケット単価の設定等、来場しやすい環境作りを構築していかななくてはならない。 ・世界一のフルート奏者の演奏はクラシック初心者の方の心にも響いたようだ。アンケート結果からみてもクラシック初心者の反応が良かったことはリピーター要素が高いと感じた。 | | | | |